

平成24年度

北海道公立大学法人札幌医科大学の業務実績に関する評価結果

平成25年8月

北海道地方独立行政法人評価委員会

□ 評価にあたっての基本的な考え方

北海道地方独立行政法人評価委員会は、地方独立行政法人法第28条の規定により、北海道公立大学法人札幌医科大学（以下「法人」という。）の平成24年度における業務実績に関する評価を実施した。

なお、評価にあたっては、自主・自律的な大学運営及び教育研究の特性に配慮しながら、中期目標の達成に向けた法人の当該事業年度における中期計画の実施状況を調査及び分析し、業務実績の全体について総合的に評価を行った。

評価委員会の業務実績に関する評価については、北海道地方独立行政法人評価委員会条例第6条第6項及び北海道地方独立行政法人評価委員会運営要綱第2条第2項の規定により、公立大学部会の議決をもって評価委員会の議決とした。

なお、当部会が具体的に評価を行うに当たっては、「北海道地方独立行政法人評価基本方針」及び「北海道公立大学法人札幌医科大学年度評価実施要領」に基づき、次の考え方により評価を行った。

○ 評価の方法

評価は、「項目別評価」と「全体評価」により実施した。

「項目別評価」は、法人が作成した業務実績報告書を踏まえ、ヒアリング等を通じて、年度計画の項目ごとに業務の実施状況の確認や法人の自己点検・評価の妥当性を検証し、総合的に判断の上、評価を行った。

「全体評価」は、項目別評価の結果を踏まえた上で、法人の業務実績全体について、記述式により評価を行った。

○ 評価の基準

法人が行う4段階（S～C）の自己点検・評価の結果を踏まえ、年度計画の項目毎に5段階（V～I）で評価を行った。

【法人が行う自己点検・評価基準】

- S：上回って実施している
- A：十分に実施している（達成度が9割以上）
- B：十分に実施していない（達成度が9割未満）
- C：実施していない

【評価委員会が行う項目別評価基準】

- V：特筆すべき進捗状況にある
- IV：順調に進んでいる（すべてS～A）
- III：おおむね順調に進んでいる（S～Aの割合がおおむね9割以上）
- II：やや遅れている（S～Aの割合がおおむね9割未満）
- I：重大な改善事項がある

目 次

1 全体評価	1P
(1) 教育について	
(2) 研究について	
(3) 社会貢献について	
(4) 附属病院について	
(5) 財務について	
2 項目別評価	
第1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置	2P
1 教育に関する目標を達成するための措置	
2 研究に関する目標を達成するための措置	
3 社会貢献に関する目標を達成するための措置	
4 附属病院に関する目標を達成するための措置	
第2 業務運営の改善に関する目標を達成するための措置	4P
1 組織及び業務等に関する目標を達成するための措置	
2 人事の改善に関する目標を達成するための措置	
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	5P
1 財務に関する基本的な目標を達成するための措置	
2 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	
3 資産の運用管理に関する目標を達成するための措置	
第4 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置	6P
1 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置	
第5 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	6P
1 施設設備の整備、活用等に関する目標を達成するための措置	
3 項目別評価（総括表）	7P

1 全体評価

北海道公立大学法人札幌医科大学（以下「法人」という。）は、地方独立行政法人化後6年目を迎え、平成24年度が第1期中期目標期間の最終年度となることから、中期計画達成に向けて取組みを行った。

評価委員会は、平成24年度における年度計画の実施状況について、年度計画の63項目を調査・分析し、さらに11の分野に集約した上で、評価を行ったところ、1項目が「上回って実施している」、62項目が「十分に実施している」となり、その主な評価は次のとおりである。

（1）教育について

教育については、平成24年4月に助産学専攻科を開設し、将来の周産期医療・母子保健を担う助産師育成に向けた取組みを行っているほか、医学部の一般入試において、卒業後、一定期間の道内勤務を条件とする「北海道医療枠」を設置するなど、道内の地域医療に従事する人材の確保に向けて取り組んだ。

（2）研究について

研究については、国や北海道臨床開発機構の支援を受けて、ヒト癌ワクチン研究については平成24年8月に、また脳梗塞研究については平成25年3月にそれぞれ医師主導型治験を開始した。

（3）社会貢献について

社会貢献については、地域医療支援センターにおいて、地域からの要請に基づき、道内の地域医療機関に医師派遣を行い、地域医療確保に向けた取組みを行った。

（4）附属病院について

附属病院については、ハイブリッド手術室の整備や手術支援ロボットを導入するなど病院機能の強化に取り組んだ。

また、未収金の圧縮や医薬材料費のコスト削減に努め、病院経営の改善を図った。

（5）財務について

財務については、中長期的な視点に立ち、法人化のメリットを活かし積極的に財務内容の改善に努めたことから、道からの運営費交付金依存率を平成18年度比8.5ポイントの縮減を図った。

2 項目別評価

第1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

年度計画について評価を行った結果、全ての項目がA評価となっており、全体としては、計画どおり取組みが実施されたものと評価できる。

1 教育に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○助産学専攻科の開設

平成24年4月から助産学専攻科を開設し、道内の周産期医療・母子保健を担う助産師の育成に取り組んだことは評価できる。(No. 2-3、7-8)

○入学者選抜方式の見直し

医学部の一般入試において、卒業後、一定期間の道内勤務を条件とする「北海道医療枠」を設置し、道内の地域医療に従事する人材の確保に向けて取り組んだことは評価できる。

○教員の教育内容や教授能力の改善・向上に関する取組み

教員に年1回以上の参加等を義務づけている教育セミナーなどへの参加を徹底するなど、教育の質の向上に努めたことは評価できる。(No. 15)

2 研究に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○基礎研究・臨床研究の推進

脳梗塞研究やヒト癌ワクチン研究の治験が開始され、国際水準の研究を推進したことは評価できる。(No. 19)

○競争的資金獲得に向けた取組み

科学研究費補助金等の各種競争的資金の積極的な獲得に向け、文部科学省への申請において、目標件数を上回る応募を実施するなど外部研究資金の確保に向けて取り組んだことは評価できる。(No. 22)

3 社会貢献に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○地域医療支援の充実

地域からの要請に基づいて道内の地域医療機関に医師の派遣を行い、道内の地域医療確保に向けた取組みを行ったことは評価できる。(No. 25)

○情報発信

疾病の予防などに関する公開講座「すこやかライフ講座」の開催やラジオ番組「医の力 ～札幌医科大学 最前線～」の放送など、様々な広報媒体等を活用して、法人における教育、研究、診療などの取組み状況を積極的に発信したことは評価できる。(No. 28)

○基礎研究・臨床研究の推進

脳梗塞研究やヒト癌ワクチン研究の治験実施等に向けて、他の大学や関係機関と連携して取り組んだことは評価できる。(No. 31)

○国際交流の促進

フィンランドや中国医科大学との交流協定の更新の他、協定大学との研究者の相互交流、諸外国からの研修員に対する医療技術指導の支援などに引き続き取り組んだことは評価できる。(No. 32-33)

4 附属病院に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○病院機能の強化

ハイブリッド手術室を整備したほか、手術支援ロボットを導入するなど高度医療・先端医療に資する医療機器の整備を計画的に行い、病院機能の強化を図ったことは評価できる。(No. 38)

○治験体制の整備・充実

医師主導型治験に係る治験コーディネーターを増員するなど治験体制の整備・充実に取り組んだことは評価できる。(No. 39)

○地域医療支援の充実

地域からの要請に基づいて道内の地域医療機関に医師の派遣を行い、道内の地域医療確保に向けた取組みを行ったことは評価できる。(No. 42)

○情報発信

疾病の予防などに関する公開講座「すこやかライフ講座」の開催やラジオ番組「医の力 ～札幌医科大学 最前線～」の放送など、様々な広報媒体等を活用して、法人における教育、研究、診療などの取組状況を積極的に発信したことは評価できる。(No. 44)

○病院経営の改善

新たな医療材料の物流管理システム（SPD）の運用開始や後発医薬品の利用拡大など業務の効率化やコスト削減に取り組んだことは評価できる。(No. 45、50-51)

第2 業務運営の改善に関する目標を達成するための措置

年度計画について評価を行った結果、全ての項目がA評価となっており、全体としては、計画どおりに取組みが実施されたものと評価できる。

1 組織及び業務等に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○外務委託化の推進

組織機構改正を通じて、事務事業の点検を実施し、3名相当分の業務の外部委託化を実施したことは評価できる。(No. 54)

2 人事の改善に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○プロパー職員の採用

11名のプロパー職員を採用するとともに、公立大学職員セミナー等の研修を通して、プロパー職員の育成を図ったことは評価できる。(No. 55)

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

年度計画について評価を行った結果、S評価が1項目、A評価が4項目となっており、全体としては計画どおりに取組みが実施されたものと評価できる。

1 財務に関する基本的な目標を達成するための措置

評価 V：特筆すべき進捗状況にある

【主な取組みと評価】

○大学の運営と経営分析

法人化のメリットを活かして積極的に財務内容の改善に努め、道からの運営費交付金依存率を平成18年度比8.5ポイントの縮減を図ったことは高く評価できる。(No. 56)

2 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○競争的資金獲得に向けた取組み

科学研究費補助金等の各種競争的資金の積極的な獲得に向け、文部科学省への申請において、目標件数を上回る応募を実施するなど外部研究資金の確保に向けて取り組んだことは評価できる。(No. 57)

3 資産の運用管理に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○資産の効果的・効率的な運用

法人施設の保全や維持管理を図るため、法人の施設長期保全計画に基づいた設備改修を引き続き行ったことは評価できる。(No. 60)

第4 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置

年度計画について評価を行った結果、全ての項目がA評価となっており、全体としては計画どおりに取組みが実施されたものと評価できる。

1 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○広報媒体を活用した情報発信

疾病の予防などに関する公開講座「すこやかライフ講座」の開催やラジオ番組「医の力 ～札幌医科大学 最前線～」の放送など、様々な広報媒体等を活用して、法人における教育、研究、診療などの取組み状況を積極的に発信したことは評価できる。(No. 61-62)

第5 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

年度計画について評価を行った結果、A評価となっており、計画どおりに取組みが実施されたものと評価できる。

1 施設設備の整備、活用等に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○ESCO事業等の取組み

法人施設の長期保全計画に基づく改修工事を実施し、施設の適切な保全と維持管理に取り組んでいること、また事業開始から4年目となったESCO事業についても、当初予定の省エネ率11%を4ポイント上回る15%の削減効果を上げたことは評価できる。(No. 63)

3 項目別評価（総括表）

評価項目(年度計画)		法人自己評価								評価委員会評価								
		計画達成の状況								評価	評価における特記事項							
		S	1	A	62	B	0	C	0		IV	S	1	A	62	B	0	C
1	第1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 1 教育に関する目標を達成するための措置 (1) 教育の成果に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 1-2)	S	0	A	53	B	0	C	0	IV	S	0	A	53	B	0	C	0
		S	0	A	18	B	0	C	0	IV	S	0	A	18	B	0	C	0
		S	0	A	2	B	0	C	0	IV	○順調に進んでいる。							
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門科目の新設・統廃合など平成25年度保健医療研究科実施科目の運営方法を検討。(No. 1) A ○ 助産学専攻科教育カリキュラムによる講義・演習を実施。(No. 2) A 																
2	(2) 教育内容等に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 3-9)	S	0	A	7	B	0	C	0	IV	○順調に進んでいる。							
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 助産学専攻科に係る入学希望者への説明会等を実施。 ・募集要項配布先：90施設 ・説明会参加者：59名 (No. 3) A ○ 英語力向上に向けたアルバータ大学への語学研修を実施。 ・参加者：8名 (No. 4) A ○ 医学部・保健医療学部における新たな共通科目導入を検討。(No. 5) A ○ 附属病院及び他の医療機関と連携した助産学専攻科における臨床教育を実施。 ・施設数：14施設 ・分娩介助数：191件 (No. 8) A ○ e-ラーニング導入に向けた啓蒙・FDセミナー開催：2回 ・参加者：52名・46名 (No. 9) A 																
3	(3) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 10-15)	S	0	A	6	B	0	C	0	IV	○順調に進んでいる。							
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学籍情報管理の効率化、学生への情報提供機能を備えた学生サポートシステムを開発。(No. 11) A ○ 長期保全計画に基づく施設改修工事を実施。(No. 12) A ○ FD活動への教員参加を促進。 ・FDセミナー開催：5回 ・FDワークショップ：1回 ・参加総数：384名 (No. 15) A 																

評価項目(年度計画)		法人自己評価							評価委員会評価										
		計画達成の状況							評価	評価における特記事項									
4	(4) 学生への支援等に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 16-18)	S	0	A	3	B	0	C	0	IV	S	0	A	3	B	0	C	0	○順調に進んでいる。
		○ 音響設備の更新やトイレのウォシュレット化など学生の要望を踏まえた福利厚生施設や学内環境整備を実施。 (No. 16) A																	
5	2 研究に関する目標を達成するための措置 (1) 研究水準及び研究の成果に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 19)	S	0	A	4	B	0	C	0	IV	S	0	A	4	B	0	C	0	○順調に進んでいる。
		S	0	A	1	B	0	C	0		○ 橋渡し研究事業推進による脳梗塞研究及びヒト癌ワクチン研究の治験を開始。 (No. 19) A								
6	(2) 研究実施体制等に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 20-22)	S	0	A	3	B	0	C	0	IV	S	0	A	3	B	0	C	0	○順調に進んでいる。
		○ 法人による教員の業績評価の実施と評価結果を踏まえた教員による次期目標の作成を実施。 (No. 21) A ○ 競争的資金への積極的な応募を実施。 ・ 文部科学省科研費申請数：322件《対H18比13.4%増》 (No. 22) A																	
7	3 社会貢献に関する目標を達成するための措置 (1) 地域医療等への貢献に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 23-30)	S	0	A	12	B	0	C	0	IV	S	0	A	12	B	0	C	0	○順調に進んでいる。
		S	0	A	8	B	0	C	0		○ 臨床研修指導医の資質向上を目的とした指導医講習会、学内医学部生等を対象とした大学病院での卒後研修の利点に関する説明会を実施。 (No. 23) A ○ 道内の地域医療機関へ医師派遣 ・ 派遣要請：2,136件 ・ 派遣実績：1,972件 《応諾率92.3%》 うち公的医療機関への派遣実績：1,185件《派遣割合60.1%》 (No. 25) A ○ 公開講座やラジオなど様々な広報媒体を活用した法人の教育・研究・診療に関する積極的な情報発信を実施。 ・ 公開講座等開催件数：59件 《対H18比146%増》 ・ 「すこやかライフ講座」開催：3回《延べ600名参加》 ・ ラジオ番組「医の力～札幌医科大学最前線～」：全52回放送 (No. 28) A								

評価項目(年度計画)		法人自己評価								評価委員会評価									
		計画達成の状況								評価	評価における特記事項								
8	(2) 産学官連携に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 31)	S	0	A	1	B	0	C	0	IV	S	0	A	1	B	0	C	0	○順調に進んでいる。
		○ 他大学と連携して脳梗塞研究及びヒト癌ワクチン研究など橋渡し研究事業を実施。 (No. 31) A																	
9	(3) 国際交流・貢献に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 32-34)	S	0	A	3	B	0	C	0	IV	S	0	A	3	B	0	C	0	○順調に進んでいる。
		○ フィンランド、中国医科大学との交流協定の更新、協定大学との研究者の相互交流等を実施。 ・アルバータ大学他研究者交流：派遣4名／受入2名 ・韓国カトリック大学他臨床実習学生交流：派遣2名／受入2名 (No. 32) A ○ JICA日系研修員や仏語圏アフリカ母子保健研修員を受け入れ、医療技術指導を実施。 ・受入総数：10名 (No. 33) A																	
10	4 附属病院に関する目標を達成するための措置 (1) 診療に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 35-38)	S	0	A	19	B	0	C	0	IV	S	0	A	19	B	0	C	0	○順調に進んでいる。
		S	0	A	4	B	0	C	0		○ 「第二外科」の再編による「心臓血管外科」及び「呼吸器外科」の新設や、てんかん治療等を行う「脳機能センター」、スポーツ障害治療等を行う「スポーツ医学センター」の開設といった診療体制を充実。(No. 35) A ○ ハイブリッド手術室の整備や手術支援ロボットの導入など病院機能の強化。(No. 38) A								
11	(2) 臨床研究に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 39)	S	0	A	1	B	0	C	0	IV	S	0	A	1	B	0	C	0	○順調に進んでいる。
		○ ヒト癌ワクチン研究及び脳梗塞研究の治験開始に向けた治験コーディネーターの増員など治験体制を充実。(No. 39) A																	

評価項目(年度計画)		法人自己評価							評価委員会評価									
		計画達成の状況							評価	評価における特記事項								
12	(3) 地域医療への貢献に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 40-44)	S	0	A	5	B	0	C	0	IV	S	0	A	5	B	0	C	0
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 臨床研修指導医の資質向上を目的とした指導医講習会、学内医学部生等を対象とした大学病院での卒後研修の利点に関する説明会を実施。(No. 40) A ○ 道内の地域医療機関へ医師派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・派遣要請：2,136件 ・派遣実績：1,972件 《応諾率92.3%》 うち公的医療機関への派遣実績：1,185件《派遣割合60.1%》 ○ 公開講座やラジオなど様々な広報媒体を活用した法人の教育・研究・診療に関する積極的な情報発信を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・公開講座等開催件数：59件 《対H18比146%増》 ・「すこやかライフ講座」開催：3回《延べ600名参加》 ・ラジオ番組「医の力～札幌医科大学最前線～」：全52回放送 								○順調に進んでいる。								
13	(4) 運営の改善・効率化に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 45-53)	S	0	A	9	B	0	C	0	IV	S	0	A	9	B	0	C	0
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たな医療材料の物流管理システム（SPD）の運用開始による業務の効率化を実施。(No. 45) A ○ 価格交渉の実施や登録医療材料の切替等による医療材料費の購入コスト削減を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・削減額：約2,200万円 ○ 後発医薬品の利用拡大の実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用数：15品目 ・総採用数：180品目 								○順調に進んでいる。								
14	第2 業務運営の改善に関する目標を達成するための措置 1 組織及び業務等に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 54)	S	0	A	2	B	0	C	0	IV	S	0	A	2	B	0	C	0
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 事務事業の点検を実施し、3名相当分の業務を外部委託化。 								○順調に進んでいる。								

評価項目(年度計画)	法人自己評価								評価委員会評価									
	計画達成の状況								評価	評価における特記事項								
15 2 人事の改善に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 55)	S	0	A	1	B	0	C	0	IV	S	0	A	1	B	0	C	0	○順調に進んでいる。
	○ 11名のプロパー職員を採用するとともに、公立大学職員セミナー等の研修を通じて職員を育成。 (No. 55) A																	
16 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置 1 財務に関する基本的な目標を達成するための措置 (H24計画No. 56)	S	1	A	4	B	0	C	0	V	S	1	A	4	B	0	C	0	○特筆すべき進捗状況である。 道からの運営費交付金依存率を平成18年度比8.5ポイント縮減したことは高く評価できる。 ※ 数値指標 平成18年度比概ね5ポイント縮減
	S	1	A	0	B	0	C	0		○ 法人の収入増や経費節減の取組みによる道からの運営費交付金依存率の縮減を実施。 ・運営費交付金依存率 平成19年度決算：23.9% 平成20年度決算：24.4% 平成21年度決算：22.2% 平成22年度決算：19.5% 平成23年度決算：18.2% 平成24年度決算：17.7% 《H18比 8.5%ポイント縮減》 (No. 56) S								
17 2 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 57-59)	S	0	A	3	B	0	C	0	IV	S	0	A	3	B	0	C	0	○順調に進んでいる。
	○ 競争的資金への積極的な応募を実施。 ・文部科学省科研費申請数：322件《対H18比13.4%増》 (No. 57) A																	
18 3 資産の運用管理に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 60)	S	0	A	1	B	0	C	0	IV	S	0	A	1	B	0	C	0	○順調に進んでいる。
	○ 施設の適切な保全や維持管理を図るため、長期保全計画に基づいた改修工事を実施。(No. 60) A																	
19 第4 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置 1 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 61-62)	S	0	A	2	B	0	C	0	IV	S	0	A	2	B	0	C	0	○順調に進んでいる。
	S	0	A	2	B	0	C	0		○ 公開講座やラジオなど様々な広報媒体を活用した法人の教育・研究・診療に関する積極的な情報発信を実施。 ・公開講座等開催件数：59件 《対H18比146%増》 ・「すこやかライフ講座」開催：3回《延べ600名参加》 ・ラジオ番組「医のカ～札幌医科大学最前線～」：全52回放送 (No. 61-62) A								

評価項目(年度計画)		法人自己評価							評価委員会評価									
		計画達成の状況							評価	評価における特記事項								
20	第5 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置 1 施設設備の整備、活用等に関する目標を達成するための措置 (H24計画No. 63)	S	0	A	1	B	0	C	0	IV	S	0	A	1	B	0	C	0
		S	0	A	1	B	0	C	0	IV	○順調に進んでいる。							
		○ 法人施設の長期保全計画に基づく改修工事を実施するとともに、事業開始から4年目となったESCO事業も引き続き実施。 ・省エネ率：15% 《当初目標値11%》 (No. 63) A																